

「年末年始は衛星放送を見ようよ！」記者発表会 「ピクセラのクラウド録画対応チューナー」 「シャープの8Kテレビ」

神谷 直亮

「年末年始は衛星放送を見ようよ！」記者発表会

放送サービス高度化推進協会（A-PAB）が主催した「年末年始は衛星放送を見ようよ！」と題する記者発表会は、12月7日に機械振興会館（東京・港区）で開催された。2000年12月1日に始まったBSデジタル本放送は21周年を迎え、2018年開始の新4K8K放送は3周年を迎えた。このような節目の年末を迎えるにあたり、NHKとBS民放5社が新4K8K放送の共同キャンペーンを行うことになり、番組の紹介とハイライトの上映が行われた。

まず、主催者を代表してA-PABの相子宏之理事長が登壇し「衛星放送業界は、残念ながら番組制作、イベントなどの面でコロナ禍の影響を受けたが、放送の信頼度と価値は少しも揺らいでいない。4K8K受信機器の出荷台数は、8月末に1,000万台を超えた。今回リアルでの記者発表会に踏み切ったのは、4K8Kの一層の普及を図るための支援を仰ぎたいからである」と期待をにじませた。

次いで、「年末年始は衛星放送を見ようよ！年末リレー1週間（12月25日～12月31日）」のナビゲーターに採用された春風亭昇太師匠が紹介され、同師匠は、「NHKと民放全局がそろった異例のキャンペーン

の案内人として認められたのは非常に光栄である。年末年始は、新4K8K放送をぜひ楽しんで欲しい」と語った後、各局の目玉番組の事前上映に合わせて独特のコメントを寄せていた。

今回上映された番組は、次の通りである。
12月25日 19:00 BS-TBS 4K「日本発着！海外行った気リゾート」

12月26日 21:00 BS朝日 4K「子供たちに残したい美しい日本のうた」

12月27日 21:00 BSフジ 4K「日本遺産物語～奇跡の島々 世界自然遺産 奄美・沖縄を巡る旅～」

12月28日 20:00 BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館 絶景の京都2時間スペシャル」

12月29日 21:00 BSテレ東 4K「最後の秘境 黒部源流紀行」

12月30日 16:30 NHK BS 4K「神様の木に合う～っぽん巨樹の旅 第4弾」

12月31日 18:45 NHK BS 8K「野生の瞬間 嶋田忠 北の清流でヤマセミ・カワセミを追う」

春風亭昇太師匠は、「日本発着！海外行った気リゾート」に関しては、「ギリシャ、モンゴル、バリ島など、パスポートのいらな

い海外旅行が楽しめる番組」、「子供たちに残したい美しい日本のうた」については、「日本の名曲、日本四季を堪能できる。なつかしい赤トンボの歌の復活ドキュメンタリーでもある」、「神様の木に合う～っぽん巨樹の旅 第4弾」では、「樹齢3000年の老木や1000年の大イチョウが紹介され、巨樹と人間の不思議なかかわりに目を奪われる」と実に簡潔明瞭なコメントを発していた。

最も筆者の印象に残ったのは、元女子バドミントン選手で現スポーツインストラクターの小椋久美子が挑んだ「過酷な黒部川源流への旅」であった。エベレストの撮影を経験したというカメラマンが捉えた絶景の映像は、奇跡と言ってもよい出来栄と見受けられた。

この後さらに、2021年3月1日から4K放送を開始したWOWOW、2022年にBSデジタル放送に新規参入するBS松竹東急、ジャパネットプロードキャストイング、BSよしもとの3社の代表による現状説明が行われた。

WOWOWを代表して登壇した田代秀樹常務は、「WOWOW 4Kは、スポーツ中継、音楽ライブ、オリジナルドラマなどを編成した総合チャンネルとして好評を得ている。12月には、期待に応じて2021年を彩った話題の4Kコンテンツを1か月にわたり特集する。例えばスポーツでは、ヨーロッパ最強を決めるサッカーの祭典として知られるUEFA EURO 2020の全51試合を4Kで完全放送する。音楽番組では、WOWOWオリジナル「玉置浩二Chocolate Cosmos～恋の思い出、切ない恋心」やギターの祭典「エリック・クラプトン クロスロード・ギター・フェスティバル2019」など、臨場感あふれるライブを用意している」と強調した。



写真1 「年末年始は衛星放送を見ようよ！」記者発表会の趣旨を説明する相子宏之 A-PAB 理事長



写真2 「年末年始は、新4K8K放送をぜひ楽しんで欲しい」と笑顔で訴えたナビゲーターの春風亭昇太師匠

BS 松竹東急の中村敦史執行役員編成局長は、「2022年3月の開局を考えている。番組は、松竹が持つ映画、歌舞伎、伝統文化などに基づくコンテンツや東急が推進するエンターテインメントシティ渋谷といった新しいコンテンツを活用する総合的なものになる。さらに視聴者に親しみを持ってもらえるバラエティ番組、挑戦的なオリジナルドラマなどにも力を入れていくことしているので期待してほしい」と意欲満々であった。

ジャパネットプロードキャストの田知花隆司執行役員は、「埋もれているものを発掘する」をモットーにした番組編成を考えている。その土地ならではの地方創生番組の制作、番組で紹介される地方特有の商品の販売なども考慮に入れている。通信販売と地域創生事業には良いものを見つけるといふ共通点がある。アプリの面では、テレビと連携するスマホの活用を検討している」と語った。開局の日程を発表するのでは期待したが、今回のプレゼンテーションでは触れなかった。

BS よしもとの松本幹景編成局長は、「すでに発表しているように2022年3月21日に開局する。チャンネルのコンセプトとしては、地方創生をベースにした生番組を考えている。吉本興業が2011年から育成してきた地方に根付いている“住みます芸人”による各地方の面白いものを紹介する番組、住人ならではのローカルニュース番組の発信などが編成の中心になる。週末には、吉本のアーカイブから選りすぐりの作品を紹介するので、楽しみにしてほしい。スタジオについては、墨田区の情報経営イノベーション大学と連携して、地域交流を図れるコミュニケーションスタジオを目指している」と具体的な戦略を述べて注目を集めた。

「ピクセラのクラウド録画対応チューナー」と「シャープの8Kテレビ」

最後に、新年に期待が持てる話題を2つ紹介したい。1つは、ピクセラがクラウド



Xit AirBox [XIT-AIR120CW]

写真3 ピクセラは、業界初のクラウド録画対応ワイヤレステレビチューナー「Xit AirBox」を12月3日から発売すると発表した。

録画対応のチューナーを12月から発売を開始した。もう1つは、シャープも12月から最新鋭の8Kテレビ「AQUOS XLED DX-1」の発売を始めて8K放送の普及に一役買う戦略に出た。

「デジタル時代を通じて新しい生活を提案していく」をモットーに掲げるピクセラ(本社：大阪府大阪市)は、業界初を謳ったクラウド録画対応ワイヤレステレビチューナーXit AirBox(型番「XIT AIR120CW」)「XIT AIR120CW-EC」「XIT AIR120CW-AZ」「XIT AIR120CW-Z」を12月3日からピクセラオンラインショップ、通信販売サイト、全国の家電販売店などで発売を開始すると発表した。家電量販店モデルの「XIT AIR120CW」は、2021年8月に販売を始めた「XIT SIR110W」の後継機で、地上・BS・110度CSデジタル放送に対応したチューナーを搭載している。今回クラウド対応にしたことでハードディスクレコーダーを使わなくてもテレビ番組の録画(1TB約450時間)が可能となった。視聴端末は、Windows、Mac、Android、iPhone/iPadFireタブレット、popIn Aladinなど様々な機器に



写真4 シャープは、最新の8Kテレビ「AQUOS XLED DX1」を12月初めから発売している。

対応しているという。クラウド録画対応プランについては、フレックステック社の個人向けの大容量クラウドストレージサービス「TrraBox」を推奨している。なお、「XIT AIR120CW」のメーカー希望小売価格は、18,800円(税込み)である。

シャープが発売した8Kテレビ「AQUOS XLED DX1」は、85V、75V、65Vの3種だ。12月7日にLABI渋谷店で確認したら85Vは176万円、65Vは66万円ですでに売りに出していた。店員によれば、「8Kチューナー/4Kダブルチューナー内蔵、低反射広視野角N-Wideパネル搭載、8K超解像度アップコンバート画像処理エンジンを導入している最高品質のテレビ」とのことであった。スピーカーシステムも前世代の「DW1」は55W5個であったが、「DX1」は70W8個に出力をアップしている。

Naoakira Kamiya
衛星システム総研 代表
メディア・ジャーナリスト

ハイビジョン放送・災害・報道・海外派遣



<SATCUBEアンテナの特長>

- 47cm x 30cm x 5.5cmビジネスバッグに入ります!
- SCPCモデル・Sat-Qモデル・各種あり
- 災害/報道/海外派遣映像音声伝送インターネット接続/ハイビジョン伝送可能
- わずか1分で通信可能組立不要・工具不要
- 衛星補短は内蔵ディスプレイのアジスト機能で素早く簡単
- 航空機持込可能!バッテリーで運用可(約3時間運用可能)
- 運用中のバッテリー交換可(ホットスワップ対応)
- モバイル中継装置(TVU・Live U・スマテレ等)と連携可

SATCUBE

「驚愕の超小型平面アンテナ!」

スタンダードなSCPCでのSNGモデルに加え2020年7月に新しくスタートしたスカパーJSAT社の新サービス「Sat-Q」モデルもラインナップ。お客様の運用にマッチした利用が簡単にできます。放送などのHD映像伝送・災害通信・海外通信・企業のBCP向けなど幅広く利用可能です。

Communications k.k. エーティコミュニケーションズ株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14
TEL: 03-5772-9125 <http://www.bizsat.jp>